

■第2次大空町社会教育中期計画（案）パブリックコメント結果

【意見募集期間】 令和6年2月1日（木）～3月1日（金）

《提出された案件》

計画等の名称	提出された意見	担当課
第2次大空町社会教育中期計画（案）	提出者数 1名 意見件数 2分野5件	生涯学習課

提出された意見	提出された意見の検討結果
<p>（コメント）</p> <p>冬期の生涯スポーツと社会教育施設・設備の充実について</p> <p>（理由）</p> <p>冬期の生涯スポーツの多様化の必要性と社会教育施設・設備の充実について下記のとおり意見を申し上げます。</p> <p>1 冬期の生涯スポーツの多様化の必要性</p> <p>ウォーキングやランニングで健康増進に努めている老若男女が多いですが、降雪期においては寒さ路面状況等により実施が難しかったり、危険が伴っております。このため以下のような場所があればと思います。</p> <p>（1） 室内でウォーキング等ができる広い場所</p> <p>（2） スノーシューや歩くスキーができる場所</p> <p>女満別地区では運動公園で可能なようであるが、より長い距離を楽しめる場所があると良いと思います。例えば大空八景のような場所だと冬のアクティビティ観光の一つになる可能性もあると思います。冬期ですから、駐車場所の確保は最低条件になりますし、トイレも必要と思われます。道の駅はアクセスや設備は完璧ですが、朝日ヶ丘展望台等のコースが設定できれば良い場所だと思われます。</p> <p>2 社会教育施設・設備の充実について</p> <p>（1） 社会教育施設の更新について</p> <p>更新が予定されているが、施設の分散の可能性があり、高齢者のアクセスが不便だったり、特に冬期においては、交通量の多い</p>	<p>1 町民一人一人が心身ともに健康で充実した生活を営むには、それぞれの世代での体力や年齢、目的に応じたスポーツに親しむことができる社会の実現が求められています。少子高齢化の中で、健康寿命への要求は高まり、各世代においてもスポーツ活動に対する要望が高まっています。課題としても、体力・運動能力向上や健康を維持するため、町民がより多くのスポーツに親しむ機会が必要であることが挙げられています。意見にある「室内でウォーキング等ができる広い場所」については、女満別・東藻琴B&amp;G海洋センターや女満別ゲートボールセンター、「スノーシューや歩くスキーができる場所」については、女満別運動公園や東藻琴多目的運動広場等の利用が現状は考えられますが、計画40ページ「5 安全・安心な教育環境の構築」に推進目標「ニーズを踏まえ利用しやすいスポーツ施設の適正管理」と、主な取組・展開「安全に安心して日常的に取り組めるスポーツ環境の整備」を追記いたします。尚、ご提案のあった「朝日ヶ丘展望台」については、所管課が産業課となっているため、情報共有をさせていただきます。</p> <p>2 生涯にわたってあらゆる機会や場所において、さまざまな学習活動が効果的に発揮できるよう社会教育（体育）施設の維持管理を行い、設備についても適宜更新をしていますが、女満別研修会館については、築50年以上経ち、更新（建て替え）を予定している所です。現在、町全体にお</p>

道路の横断に伴う危険が高くなるので、これらも配慮すべきである。長い目で見て利便性があり、潜在的危険性の少ない施設を作ってほしい。

(2) 運動施設の設備について

照明のLED化が進んでいるが、未実施の施設においては、光熱費抑制のため間引き点灯がされ不便を強いられている。実際に使用していて不便を感じる箇所や改良点がある場合に指定管理者に指摘しても改善されない現状があるため、改善要望報告体制を整備する必要がある。

(3) 運動施設の保守管理について

使用設備が使用に伴う摩損が発生し、危険な状態になっていても補修が行われないため、迅速な対応を行う体制にする必要がある。

ける公共施設と調整しながら、社会教育施設の役割と機能をふまえた「社会教育施設基本構想」の策定を進めていることから（計画40ページ「5安全・安心な教育環境の構築」推進目標「社会教育施設基本構想の推進」）、アクセス・利便性等についてもふまえた上で、構想の推進を図ります。

また、同ページ内推進目標「指定管理者との連携強化」に、主な取組・展開「指定管理者との連携を深め、施設環境の整備を推進」と記載させていただいているので、指定管理者に不便を感じる箇所や改良点をお伝えいただくことで、現状が改善されるよう定期的な情報共有の機会を設け、計画の推進を図ります。

同様に同ページ内推進目標「公共施設等総合管理計画に基づいた施設の在り方を検討」に、主な取組・展開「学校施設等長寿命化計画を策定し、具体的な管理方針を施設ごとに検討」と記載させていただいているので、使用設備が危険な状態になる前に対応できるよう個別施設の実施計画の推進を図ります。